



碩台校区の住民交流の場でもある「碩台校区の夏祭り」



各商店が自慢の品を並べる「子飼100円笑店街」。開催を楽しみにする商店主も多い



「井戸端お笑い寄席」には若手のお笑い芸人が出演。高齢者を笑いで和ませる



藤崎八幡宮のお膝元「鳥居基」団体としての誇りは子どもたちにも受け継がれている

り馬を奉納する『鳥居基』団体であること」と碩台校区奉賛会鳥居基の濱田智さんは言います。碩台校区では昭和5年に奉納団体が結成されて以来、長年、例大祭に参加しています。5年前からは碩台校区町内自治会が中心となり、「碩台校区鳥居基」

として出場。地元の子どもたちは無料で参加できるなど、地域としての誇りを受け継いでいると思っています。

榊田さんは「若い人たちにも、伝統に触れて欲しいし、季節の行事の大切さを知って欲しい」と言います。「伝統を守りながら、新しいものを作っていくかねばなりません。そのためにはまず、土台がしっかりしないと。伝統を引き継ぎつつ、時代に合うものを作るには努力が必要です。若い人たちにもっと自分のまちについて知ってもらって、住みやすい町をつくってほしいと思います」。

新しい試みが広がる 子飼商店街

碩台 校区のもう一つの顔が、熊本市の台所「子飼商店街」です。狭い通りに八百屋や魚屋、今では珍しくなった和菓子屋、惣菜屋など、小さなお店が並びます。昭和レトロな雰囲気漂う昔ながらの町並みです。

熊本大学に近いことから、大学生を含む近隣住民に愛される商店街です。郊外大型店舗のオープンや住民の高齢化などに伴い、一時は、空き店舗も増えていた子飼商店街ですが、近年、若者による出店が多くなってきました。商店街の雰囲気を活かした外観や、特色のあるメニューなど、話題性があり、地域外から訪れる人も増え、活気ができています。

そんな商店街の人たちが中心となって、新しい試みも行われ始めました。それが、商店街全体を100円ショップに見立て、100円商品が店頭に並ぶ「100円笑店街」です。3カ月に1度程度開催されており、各商店が自慢の品を100円で販売します。この日は、校区外からも多くの人が訪れます。また、お年寄りの井戸端会議を復活したいとの試みで始められた「井戸端お笑い寄席」も新しい試みの一つです。地元の若いお笑い芸人やタレントたちが、お年寄りたちに気軽に集って話

せる場所を作りたいとのコンセプトで始めたもので、地域コミュニティセンターで月1回行われています。参加者からは「最初は若い人のお笑いはついていけない、と思うとったけど、なかなか面白かった」と好評なようです。また、若い人と年配の方のコミュニケーションにもなっています。

現在、子飼橋の架け替えや道路拡張などが行われており、商店街周辺は少しずつ姿を変えようとしています。その変化を活かして、より、いきいきとしたまちを目指そうとする碩台校区。伝統を大切に、地元の歴史を愛しながら、新しいものを作り、発展させていこうという意気込みが、まちの元気を作っています。



碩台校区自治協議会の榊田攝也会長

碩台校区 (平成25年4月現在)

人口計: 6,345 人
世帯数: 3,628 世帯
町内自治会数: 17

